

米国 ワシントン州のサクランボの出荷最盛期は6月中旬から

[FreshPlaza 2024年6月3日](#)

7月4日(独立記念日)の週末に向けてワシントン州のサクランボが供給のピークへ

ワシントン州では、サクランボの収穫開始が当初の予想からわずかに遅れている。CMI果樹園のジョエル・ヒューイト氏は、「今年の春は本当に穏やかだったので、サクランボの生育はここ数年ほど速く進んでいない。それは良いことだ。なぜなら、カリフォルニア州産がまだいくらか出回っており、重複が少ないほど皆にとって都合が良いからだ」と言う。(以下「」は同氏の発言)

同州の出荷は来週から始まり、6月10日の週に供給のピークに達し、そのピークは約4週間続くと予想されている。「このピークは通常、シーズン後半の収穫が好調ならば5~6週間続くものだ。今年は1月の気温が低かったため、標高の高い果樹園の一部が被害を受けた。それらの果樹園では通常は7月下旬まで、または8月中旬ないしは下旬まで出荷が続くが、今年は夏の後半に市場に出回るサクランボが少なくなると予想している。我々から小売業者に推奨できることは、力強いスタートを切り、サクランボを宣伝し、目立つように配置して注目を引き、衝動買いを可能な限り取り込めるように、シーズン中ずっと力強く取り組むことだ。」

作柄に関しては、良いサイズの果実が果樹の間に非常に均等に実っている。均一な着果は、まだ樹上にあるサクランボにより多くのエネルギーと栄養素が供給されることで、高品質で大粒のサクランボができる可能性が高いことを意味する。「樹上のサクランボが多すぎると粒が小さくなってしまうので、摘花等の技術によって果樹当たりのサクランボの着果量を適切に保ち、このバランスをうまく管理することが健全なサイズのサクランボを育てる上で重要である。」

また、供給が順調なため、今シーズンは小売業者が同社のスカイラーレイチェリーやストロベリーチェリーなど、様々な種類のサクランボを検討するチャンスになるかもしれないと同氏は考えている。「レーニア種の生産量は昨年と同程度で、国内外で大きな需要があるようだ。今年は高品質のレーニア種と赤系のサクランボが十分に供給されている。」

祝日のタイミング

一方、今年は、収穫のスタートが遅くても、タイミングはワシントン州に味方しそうである。「今年のカリフォルニア州産は、メモリアルデー(戦没将兵追悼記念日。毎年5月の最終月曜日)に向けた宣伝を実にうまく行えたようだ。北西部(ワシントン州等)では出荷の最盛期が7月4日(独立記念日)に向けた宣伝のタイミングに当たり、これは素晴らしいことだ。」同氏はまた、ワシントン州の出荷シーズンを通して、メモリアルデーの週末の勢いを強いまま維持するべきだと指摘する。

ブリティッシュコロンビア州(カナダ。通常ワシントン州の次に出荷する)では、天候の問題により今シーズンのサクランボの収穫量が非常に少ないため、ワシントン州産の収穫期の終盤には需要圧力が高まるだろう。

小売価格は昨年よりも少し強気である。「カリフォルニア州からワシントン州に移行する米国産サクランボの全体的な供給トン数を見るとある程度安定しているため、小売価格も安定することを期待している。それによって、収穫期間を通じて価格を維持しながら、販売を進めるチャンスが得られる。」

執筆者: アストリッド・ヴァン・デン・ブローク

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)